



## 札幌市ジュニアリーダー養成研修会

—たくさんのお友だちと交流して、なかまの輪を広げよう!—

### 令和6年度の活動のようす

ジュニアリーダー研修会では、1年を通して「心とワザを磨こう」をテーマに、異なる地域・年齢の人たちとのグループ活動を通して、社会性・協調性・自主性を養います。毎年継続して学ぶことで、段階的に「人と話す力」や「グループをまとめる力」などを身につけ、あらゆる場面で活躍できる人材を育みます。



※詳細については当会webサイトをご覧ください。

### 令和6年度 全国子ども会連合会表彰・指定都市子ども会連絡協議会表彰

長年の活発な子ども会活動の実践とその功績が讃えられ受賞されました。おめでとうございます。

#### 全国子ども会連合会表彰

団体	菊水幌東子ども会・活動歴36年 (白石区・代表 佐藤 裕昭氏)
個人	後藤 美智子氏(清田区・活動歴45年)

#### 指定都市子ども会連絡協議会表彰

団体	該当者なし
個人	小澤 幸子氏(白石区・活動歴25年) 西田 直美氏(厚別区・活動歴18年)



2024

# さっぽろ夢大陸 大志塾

## ～開拓の村でナゾ解きに挑戦～

連携：北海道開拓の村（一般財団法人 北海道歴史文化財団）

令和6年9月1日（日）・7日（土）

北海道開拓の村を会場にウォークラリーを実施。



昔遊びに挑戦



チームで協力し、ナゾ解きに挑戦



みんなで記念写真



警察署の前で敬礼

## 防災ひろば ～避難所体験～

令和6年9月14日（土）・15日（日） 会場：Coミドリ

ダンボールベッドの組み立て、給水車からの水汲み・運搬及び消火器の使い方などを体験し、災害発生時に具体的な動きや日常から防災の備えの大切さを知ることができました。災害後の避難所生活を疑似体験し、災害への備えと、その状況に置かれた時の自分の取るべき行動を日頃から家庭で考えるきっかけとなりました。



ダンボールベッド組み立て体験



給水車からの水汲み体験



水消火器体験

## 子どもの体験活動の場 Coミドリ

毎月のこども会議「いいんかい？Coミドリ」から生まれたイベント、「Coミドリ音楽祭」「Coミドリまつり」「収穫祭」…など。大人たちはグッと言葉を飲み込み見守りに徹し、企画から運営まで子どもたちでつくりあげました。「まつり」に関しては、材料集め、店づくり、商品づくり、店員、ふりかえりまですべて子どもたちだけでやりきりました。

また、地域との繋がりとして近隣の市立札幌みなみの杜高等支援学校には、チラシ作成や館内清掃を、まちのお助けマンからはドラム演奏や自転車解体を教わり、札幌市立大学との「くるくるまつり」では多くの方にご参加いただきました。

Coミドリは、令和2年度から当会で運営してまいりましたが、令和6年度末をもって終了することとなりました。

なお、令和7年度からは、新規事業者様が運営いたします。5年間もの長い間、Coミドリに携わる人と共につくり続けることができましたこと、誠にありがとうございました。





# 健全育成事業

## さっぽろ手稲の森探検塾 ～もりはともだち～

連携：三菱マテリアル株式会社、北大森林研究会、  
株式会社河野銘木店  
令和6年7月1日(月)～8月8日(木)

森の生き物と役割について学び、  
手稲の森を探検。木工工作にも挑戦。



森で木の測量を体験



間伐材を利用した  
ウッドチャーム工作

## ふしぎ☆おどろきサイエンスキッズ ～空気のふしぎ～

連携：札幌市青少年科学館  
(指定管理者 公益財団法人札幌市生涯学習振興財団)  
令和6年7月29日(月)～9月5日(木)

空気のふしぎを動画で学び、  
ペットボトルを使った実験や  
空気砲作りに挑戦。



空気の力を利用した工作

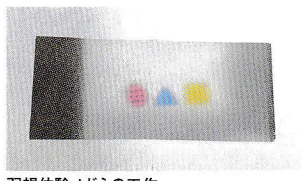
## みんなの☆ユニバーサルデザイン ～すべての人にやさしいデザイン～

連携：北星学園大学、北海道運輸局  
令和6年9月30日(月)～11月7日(木)

ユニバーサルデザインについて学び、北星学園大学構内の  
ユニバーサルデザインとバリアフリーを体験。  
弱視体験めがねの工作にも挑戦。



車いすの補助を体験



弱視体験メガネの工作

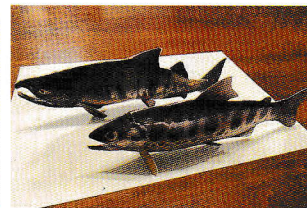
## 豊平川びっくり塾 ～水辺の生き物探検～

連携：札幌開発建設部 札幌河川事務所、  
札幌市豊平川さけ科学館(公益財団法人札幌市公園緑化協会)  
令和6年7月1日(月)～8月8日(木)

豊平川に棲む生き物と環境について学び、  
実際に豊平川で生き物の捕獲と観察を実施。魚の工作にも挑戦。



川に入って生き物観察



本物そっくり! さけの工作

## お天気塾 ～地球温暖化と雨～

連携：札幌市環境局、札幌管区気象台  
令和6年7月29日(月)～9月5日(木)

地球温暖化と雨について学び、  
気象台を見学。雨量計工作にも挑戦。



雨量計の仕組みについてお話を聞き、雨量を測る体験



2ℓのペットボトルで雨量計の工作

## エネルギー塾 ～風の利用したクリーン発電～

連携：札幌市環境局(環境都市推進部)、コスモエコパワー株式会社  
令和6年9月30日(月)～11月7日(木)

再生可能エネルギーについて学び、  
石狩湾新港風力発電所で  
風車を見学。風力発電工作にも挑戦。



風車を見学。迫力におどろき

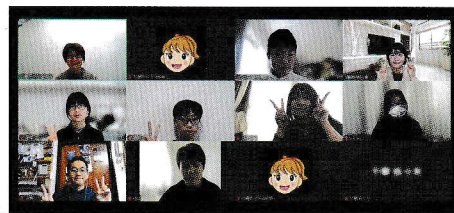


風を受けてLEDが光る「風力発電工作」

## 話し方オンライン講座 ～面接で心をつかむ伝え方～

講師：株式会社サボルテ 専任講師 有田 恵氏  
令和6年12月7日(土)・8日(日) [中学生対象]

面接などの場面で緊張しないコツや、  
印象のよい話し方の講座を、オンラインで開催。



Zoomを使用して、  
参加してくれたみなさん



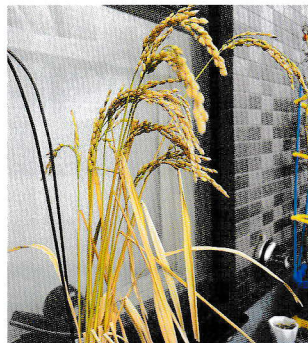
## 食育体験塾 おうちでバケツ稲づくり

連携：一般社団法人 全国農業協同組合中央会、  
JAグループバケツ稲づくり事務局  
令和6年5月～10月

バケツを水田にして種もみの種植えから収穫までの稲づくりを自宅で実施。



稲が青々と大きく育っています(8月下旬)



しっかりお米が実りました(10月)

## 2025年 私たちのまちのカレンダーづくり

連携：各区役所市民部地域振興課  
令和6年6月～令和7年1月

小学1・2年生とご家族を対象に「私たちのまちの好きなところ」「こんなまちになったらいいな」を書いて頂き、モザイクアートのカレンダーを製作。



2025年のカレンダー完成

## シマエナガを守ろう！～気候変動とSDGs～

連携：札幌市公園緑化協会 旭山記念公園事務所、札幌市環境局  
令和6年12月16日(月)～令和7年1月23日(木)

「シマエナガ」の生態や住み続けられる環境について学び、シマエナガの工作に挑戦。



毛糸で作ったかわいい「シマエナガ」

## 北の海を守ろう～北海道の魚～

連携：新さっぽろサンピアザ水族館(株式会社 札幌副都心開発公社)、  
札幌市環境局  
令和6年12月16日(月)～令和7年1月23日(木)

環境問題と生き物との関わりを学び、サンピアザ水族館を見学。紙皿水族館にも挑戦。



魚が磁石で動く工作「紙皿水族館」

北の海の生き物をじっくり観察

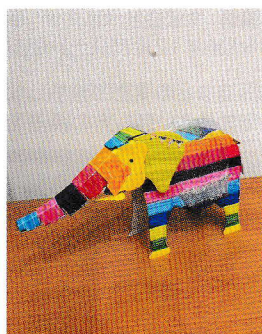
## まるやまZOO TIME ～絶滅の危機にあるアジアゾウ～

連携：札幌市円山動物園、札幌市環境局  
令和6年12月16日(月)～令和7年1月23日(木)

アジアゾウのくらしや生態について学び、円山動物園を見学。ゾウの工作にも挑戦。



象の糞から堆肥を作ることを知っておどろき

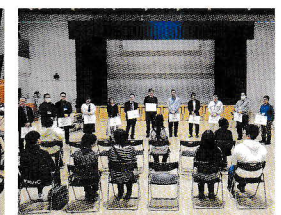


カラフルなゾウのダンボールクラフト

## しごとの「ゆめ時間」 ～大人が語る「ゆめ」の時間～

連携：しごとの「ゆめ時間」事務局  
令和7年2月9日(日)・16日(日)[中学生対象]

社会で活躍する様々な仕事の職業人から仕事の「ゆめ」や「楽しさ」を学びました。



たくさんの職業人が集まってくれました

いきいきと話す職業人の話に興味深々



# 地引網体験 in むかわ

協力: 鶴川漁業協同組合 令和6年7月6日(土)・13日(土)

第1回を7月6日(土)、第2回を7月13日(土)に、小学2年生親子対象の漁業体験活動を行いました。第1回は、天候不良のため代替プログラムとなり「むかわ町穂別博物館」へ行き、むかわ竜をはじめ、穂別地域より産出した化石などを見学しました。「水の中からきょうりゅうがでてくるのをはじめて知った」「きょうりゅうのことをいろいろ知れて、たのしかった」などの感想が寄せられ、太古の歴史を感じ、北海道の豊かな自然環境、古代生物への興味・好奇心を深めることが出来たようです。

第2回は、好天気に恵まれ、むかわ町前浜での地引網体験を実施しました。参加した子どもたちからは「ヒトデをとれてうれしかったです。またしたいです」「さかなをはじめてもった。あみをひくときおもしろかったけどたのしかった」保護者からは、「はじめての体験でびっくり&たのしい経験になりました」「沢山、ありがとうございました。すごく楽しかったです!!」などの感想が寄せられ、環境を大切にする活動への関心を高め、漁業への理解、大切さを知る機会となりました。

今回は保護者参加型の活動で「親子の絆をより深める機会になった」との声が聞かれました。



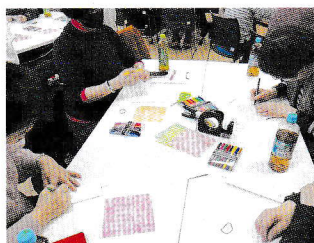
## 札子連育成者研修(ワークショップ)に参加して

12月8日(日)午前10時から、白石区民センター視聴覚室で、60名ほどの育成者の参加で、札子連育成者支援部主催のワークショップ「飛ばしてあそぼう! 紙ひこうきと紙ひこうきの発射台」が開催され、私も育成者として参加しました。

主催者挨拶の後、さっそく4~5人が1グループとなり、担当者から「発射台と紙ひこうき」の作り方の説明があり、最初に「牛乳パック」と「割りばし」で発射台をつくり、次に「折り紙」で少しでも遠くまで飛ぶようにと、思い思いの形に折った「紙ひこうき」に「ゴム」を取り付けて完成。飛ばし方はいたって簡単で、発射台の割りばしにゴムをひっかけて、ゴムの力で遠くまで飛ばします。

さっそく完成した紙ひこうきを、夢中になって飛ばして童心に戻っていた参加者もいて有意義な内容になりました。今回の参加は、支部事業で開催する「紙ひこうき親子工作」の参考になればと参加してみましたが、次回開催が楽しみとなった1日となりました。

豊平区支部 支部長 高橋 恒夫





## 中央区 子ども交流の日 インドアスポーツ大会

日程：令和6年6月30日(日) 会場：中央区民センター

中央区支部では6月30日子ども交流の日に、今年は「紅白玉入れ」「お菓子とパン食い競争」「スポーツチャンバラ」の各競技が中央区民センターホールで開催されました。中でもスポーツチャンバラは、インドア雪合戦で使用する本格的なヘルメットを着用しての対戦試合でした。子どもたちは初めての体験とあって嬉々として走り回り、相手の紙風船を打ち落とすのに必死で、ゲーム終了を告げるレフリーの笛の音にも気が付かない程でした。

小学校の運動会も今や様変わりし、集団で勝ち負けを競う風景が姿を消した昨今、こういう試みもあって良いのではと思います。機会があればもう一度経験させてあげたいものです。

(中央区支部 さっぽろっ子部 佐藤 一人)



## 北区 北区子ども会体験チャレンジ

日程：令和6年11月9日(土) 会場：篠路小学校・鴻城小学校

会場を2回に分けて体験チャレンジを行いました。紙コップを2つ使い、切って組み立てて作るUFOキャッチャーや折り紙でパーツを折って組み合わせるコマ作り、自分の好きな色に塗ったり模様を書いたバランストンボ作り。一番人気があったのは、リリアンを何度も繰り返し編んで作ったミサンガでした。

初めて作る工作に子どもたちは、教えてくれる人たちの説明を真剣に聞き、自分で作る楽しさ、工作が完成した時の嬉しさを体験し、そして友だちが困っていると助ける気持ち、助けてくれる優しさを感じることの出来た活動となりました。工作の他にも、運試しキャッチ投げや段ボールビルドなどの遊びもあり、笑顔でいっぱいの楽しい時間になりました。

(北区支部 いきいき部 山賀 晃子)



## 東区 育成者研修会

日程：令和6年11月26日(火) 会場：東区民センター

「防災を身近に感じませんか？」と題して、東区市民部総務企画課地域安全担当係の職員を講師にお招きし開催しました。

地域への防災活動をご紹介いただき、アルファ化米を【水から作るもの】【お湯から作るもの】で比較しながら試食をしました。また、子ども会での行事に活用できる、防災カードゲーム「なまずの学校」を体験し、防災について楽しく身近に感じることができました。この学びを子どもたちへ伝えていきたいと思います。

事業の開催に際して、たくさんの皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。

(東区支部 育成者支援部 吉田 雅子)



## 白石区 子ども遊芽カーニバル

日程：令和6年9月1日(日) 会場：札幌コンベンションセンター

今年も「白石区ふるさとまつり」と同時開催し、多くのお客様にご来場いただきました。昨年は予想以上のお客様に対応できない場面があったので、今年はビンゴカードや景品などの数を増やし準備を進めました。それでも終盤には缶バッジやプラ板の工作コーナーをはじめ品切れで予定時間前に終了するコーナーがありました。ステージ発表やビンゴ大会では会場を埋め尽くすお客様にお集まりいただきました。子どもたちの笑顔に癒されながら、約6時間に亘る一大イベントもあっという間に終了しました。2025年もより多くの子どもたちに楽しんでもらうために、今から企画の準備を進めます。

(白石区支部 さっぽろっ子部 高橋 義弘)





## 厚別区 わくわくキャンプ

日程：令和6年9月21日(土)～22日(日) 会場：小野幌青少年キャンプ場

前日までの暑さから一転し肌寒い空気の中、46名の子どもたちが参加してくれました。グループに分かれて炊事やクラフトを行い、キャンプファイヤーをみんなで元気いっぱい楽しみました。今年の参加者は例年に増して食欲旺盛だったのか、自分たちで調理したカレーを全グループが見事に完食して育成者を驚かせていました。クラフトの時間ではオリジナルのうちわ作りを行いました。子どもたちはどんな絵を描こうか、どんなシールで飾ろうかと真剣に悩みながら取り組む姿が印象的でした。最初ははじめまして同士の子どもたちも、解散するころには「また来年も会おうね」と言っている姿をみてうれしくなりました。いい思い出が作れていたならなによりです。

(厚別区支部 さっぽろっ子部 西田 直美)



## 豊平区 つなぐ

日程：令和7年1月4日(土) 会場：豊平区民センター

今回、豊平区支部では、ジュニアリーダーのためのレクダンスやレクゲームの動画を撮影しました。というのも今年度修了予定の上級リーダーが、全国大会に参加した際、他県のリーダーたちの行動に衝撃を受け、「自分は何もできない、知らない」と思い知らされ「これではいけない!」と思い、修了生に教えてほしいと支部の方に相談があり、それならば、これからの子たちのためにも映像で残そうということになり撮影をしました。コロナ禍で実践研修ができず、先輩たちの活動姿も見ることができなかった子たちが、少しでも先輩たちに近づけるよう役立てて欲しいと思います。そして、次の世代の後輩たちにも伝えてほしいですね。

(豊平区支部 さっぽろっ子部 加地 富美江)



## 清田区 こども歴史体験2024 to 北海道開拓の村

日程：令和6年8月8日(木) 会場：北海道開拓の村

夏休みの真っ只中の8月8日、探求心と冒険心に燃える小学生15名が、清田区役所前に元気に集まりました。今回SAPICA等の電子交通系ICカードを使用しバス・地下鉄を利用して目的地へ往復することも体験の目的の一つでした。バスに乗り込むときに緊張しながらSAPICAをかざし「ピッ」と音がすると、ホッとしたようにわずかに笑顔になる子もいました。開拓の村では、ハガキの活版印刷や藍の生葉での和紙染め、リアルな乳牛の模型による搾乳体験等様々な体験をしました。また、明治から昭和初期の建築物も子どもたちにとっては、今との違いがとても興味深かったようです。最後にブンブンゴマを作って遊び、再びバスと地下鉄に乗って帰ってきました。

区役所前での解散式では「楽しかった。また行きたい!」「どこか他の所にも行きたい!」などの声が聞かれました。

(清田区支部 子どもいきいき部 植村 敏孝)



## 南区 遊びの広場

日程：令和6年11月30日(土) 会場：南区民センター

外でなかなか遊べない冬の時期に、楽しく遊んでもらおうという趣旨で「遊びの広場」を毎年開催しています。今年ははじめに全員参加の「防災〇×クイズ」を行い、楽しみながら防災を学びました。その後、工作(プラとんぼ、プラパンなど)と遊び(イライラ棒タンграм、タコつりなど)のコーナーをそれぞれまわってもらいました。気に入ったコーナーを2回、3回とまわる参加者もいました。

アンケートでも「楽しかった」「また来たい」との回答が多く、参加したみんなに楽しんでもらえたようです。

(南区支部 さっぽろっ子部 森 洋子)





## 西区

### 120年前の木造校舎見学とおにぎりづくり

日程：令和6年8月25日（日） 会場：旧双葉小学校史料館

ぼくたちは、120年前に建てられた歴史ある喜茂別町の小学校に行ってきました。今ではカフェになっていて、たくさんの人達が泊まれる部屋があり、バイクなどおとずれていました。学校の芝の所で鬼ごっこやモルックを、チームのみんなで話し合いながら遊ぶのが楽しかったです。校舎は全部、木でできていて当時の人たちを想像しながら学校を見てまわりました。おにぎり作りではいろいろな具材があり自分で作ったおにぎりはとてもおいしかったです。120年残されている学校はあまりないのでみんなに愛され残されている事はすごいと思いました。ぜひ、みんなも行ってみたい下さい。

（西区星空子ども会 小学6年 中野 瑠人）



## 手稲区

### 子どもまつり2024

日程：令和6年11月3日（日・祝） 会場：手稲区民センター

混雑を避けるため3部制で実施しました。遊びのコーナーでは缶バッチやプラ板作り、ストラックアウトやわなげでは好投を見せ、綿あめやポップコーン、ヨーヨー釣りを楽しみました。また、防災についての学びのコーナーを設け、新聞紙のスリッパ作り、危険を知らせる大声体験、1日に必要な水分量を知り防災食の試食も行ないました。

お土産に防災食と消防車両や救急車、ヘリコプターのペーパークラフトを用意し、とても喜んでいただきました。

（手稲区支部 支部長 山澤 恭子）



## 新年度に向けて

コロナ禍で自粛していた子ども会活動があらこちらで再開し、元気な子ども達の笑顔や歓声で地域に活気が戻ってきたように感じられます。長かったコロナ禍の辛い時期に、みんなで考え共に協力して単子の子ども会活動を始め、支部の子ども会活動を守り再開された子ども達や育成者の皆様には心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、子ども会を取り巻く環境は、長い間子ども会の一番の課題と言われていた会員の減少が、コロナ禍の中でさらに加速し歯止めがかからず、大変厳しい状況となっております。

札子連は、この課題解決のために、新規子ども会の立ち上げ助成や子ども会体験活動助成を行って参りました。

これからは、子ども会が社会や地域の方々から評価していただくために、学校や町内会を始め地域の各種団体、企業との連携を大切に活動をして参ります。

皆様には引き続き子ども会事業に対するご理解とご協力をお願いすることとなりますが、今までと同様宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人 札幌市子ども会育成連合会 会長 田中 昭夫

## 赤い羽根共同募金



「さっぽろっ子」は、共同募金会とムトウ建設工業株式会社の協力により発行しています。

### 【発行】公益社団法人 札幌市子ども会育成連合会

札幌市中央区南1条東2丁目  
大通バスセンタービル2号館2階  
TEL 011-211-3015 FAX 011-272-3016

【発行者】会長 田中 昭夫  
【編集者】さっぽろっ子部長 高橋 義弘  
<https://sakkoren.or.jp/>

